



委員長

安本 貞敏

実施日 平成22年10月21日～22日

視察地 ・兵庫県神戸市 「神戸市農業公園」

・大阪府田尻町 「田尻漁業協同組合田尻海洋交流センター」

○ 神戸農業公園

（財）神戸みのりの公社が運営しており、園内のブドウ畑から収穫されたブドウを使った、ワインの製造、ワインや神戸市特産の神戸牛肉等の販売を行っている。神戸牛を核としたレストラン・陶芸館・多目的広場・ゴーカート・パターゴルフ・民具農具館などもあり、幅広く集客を行っている。メインはブドウであるが、農業生産（第1次産業）、ワイン製造（第2次産業）を手掛けている。

特に休日、祭日には広域より多くの来客があり、バーベキューを楽しむ場となっている。地理的に来客数が多く、数年前より入場料が無料となっているのが魅力の一つであった。



○ 田尻海洋交流センター

田尻漁協は関西国際空港の連絡橋のたもとに位置し、組合員33名、漁業専業者23名の小規模な漁協である。関西国際空港の開港に伴い沖合400mまで埋立が行われ、その影響を受け漁獲量が減少してきた。漁協では、対策として漁獲物の直売や海洋交流センター事業に取り組んだ。

日曜朝市への取組みに手掛けた所、年間500万円余りの手数料を得ている。漁協ではマリンレジャーとの共存により、漁村振興を図ることを目的に、ヨット・モーターボート・水上バイクの受け入れにも手掛け、集客も実績アップしている。

・釣り堀事業への取り組み

平成12年から体験漁業の悪天候時の対策として、筏釣りを実施している。

筏へは約120名が収容可能である。

釣り堀事業の収入は、釣り放題に関して年間1万5,000名が訪れており、1億4,000万円の売り上げがある。釣りフルコースには1,300名が訪れ盛り上がっている。更には、漁業体験等も手掛け、年々事業実績は向上している。

小さな漁協でも、組合と組合員の結束から夢のある漁業が実現している。



田 尻 漁 協 に て